



↑日経ビジネス 2012年10月8日号（表紙）

日本を救う可能性を秘めた  
次世代ベンチャー100社  
を取材。

成長分野 25 ジャンル、  
高齢化社会対策の  
アンチエイジング部門で  
当社が選ばれました。



介護予防教室でiPadに触る受講者たち。パソコン教室運営のサムライトには独自のカリキュラムの効果測定が今後の課題となる

↑日経ビジネス 2012年10月8日号（特集）



# 日本を救う 次世代ベンチャー 100

欧米に比べてベンチャーが育ちにくいと言われる日本。だが、それは必ずしも事実ではない。不況の中でも、斬新なビジネスモデルを掲げる新興企業は生まれている。先端医療から再生可能エネルギーまで日本を救う可能性を秘めた次世代ベンチャーを100社取材した。様々な分野で胎動する新たな知恵と技術を展望することは日本の「次の成長分野」を知る羅針盤にもなる。 (宇賀神 幸司、戸川 純郎、上木 真博、田中 謙一郎)



次世代ベンチャーはここで生まれている

## 次の成長分野 25ジャンル

### CONTENTS

#### 医療

難病治療	p.26
再生医療	p.28

#### 高齢化社会対策

介護	p.32
<b>アンチエイジング</b>	<b>p.33</b>
社会参加支援	p.34
老後の不安解消	p.35
死後の不安解消	p.36
少子化対策	p.36

#### 災害・治安悪化対策

地震・津波対策	p.37
交通事故防止技術	p.39
防犯システム	p.40

#### 食糧危機・環境悪化対策

代替食糧開発	p.41
次世代飼育・養殖	p.42
植物工場	p.43
環境浄化システム	p.44

#### 既存産業の競争力向上

モノ作り革新	p.46
ホワイトカラーの生産性改善	p.48

#### 未来型産業

↑日経ビジネス 2012年10月8日号(目次)

### 最初から介護要らずの体を作る

「どんぐりころころドンブリコ〜、お池にはまってさあ大変〜」

会場を埋めた数十人の高齢者が童謡に合わせて体を動かす。壇上に立つ講師が一人ひとりにアドバイスを送る。

「そう、肩にしっかり手をつけて。筋力がだんだんついてきます。無理はしないでいいですよ。では体操の次はいよいよ、iPadを使って頭のトレーニングをしていきましょう」

ここは、2009年設立のベンチャー企業、サムライト(福岡市、光岡真里社長)が開く介護予防教室。「1日でも長く楽しく暮らす」をスローガンに、

福岡県と広島県の老人介護施設への出前形式で授業を展開し、開始から3年で受講者は4300人を超えた。

特徴は、単なる柔軟体操やゲームでなく、アップル製タブレット、iPadを活用し本格的な脳トレーニングまで実施することだ。

「介護予防で最も大切なのは、新しいものに触れ続ける喜びと感動を持ち続け、人とのつながりをしっかり保つこと。高齢者向けIT(情報技術)教室は、その2つの条件をクリアする。今後は大学と共同研究して自分たちのカリキュラムが介護予防につながってい

ることを学術的に証明していく」。光岡社長はこう話す。

↑日経ビジネス 2012年10月8日号(特集)